

科目名	基礎ゼミナール1 H	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-1-410034	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的・テーマ	基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・校内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナールⅠ E	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	木村 誠、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミⅠでは、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・校内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナールⅠ	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	上西園 武良、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることのできる こと		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミⅠでは、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・ 履修指導 ・ アイスブレイク ・ 教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・ 図書館利用のガイダンス ・ グループワーク ・ その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナールⅠ C	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	小宮山 智志、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミⅠでは、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナールⅠ D	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	佐々木 桐子、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることのできる こと		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミⅠでは、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・ 履修指導 ・ アイスブレイク ・ 教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・ 図書館利用のガイダンス ・ グループワーク ・ その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナール1 A	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	佐々木 宏之、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナールⅠ K	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	近山 英輔、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミⅠでは、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・ 履修指導 ・ アイスブレイク ・ 教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・ 図書館利用のガイダンス ・ グループワーク ・ その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナールⅠ J	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	小林 満男、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることのできる こと		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミⅠでは、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・校内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・ 履修指導 ・ アイスブレイク ・ 教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・ 図書館利用のガイダンス ・ グループワーク ・ その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナール1 G	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	土屋 翔、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・校内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナール1 F	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	藤田 美幸、宇田 隆幸			実務経験の有無	×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・校内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナールⅠ L	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	梅原 英一、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミⅠでは、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・ 履修指導 ・ アイスブレイク ・ 教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・ 図書館利用のガイダンス ・ グループワーク ・ その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	

科目名	基礎ゼミナール1 B	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	今井 裕紀、宇田 隆幸		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-31-B-1-410034		経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること		
授業の目的・テーマ	基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。 ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・校内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。				
内容	下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。 ・履修指導 ・アイスブレイク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・その他（担当教員の独自実施項目） 【毎回予習・復習に合わせて4時間】 本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス(1クラス20名程度)で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。				

学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）が身につく ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力が身につく
実務経験との関連性	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布テキストや配布物について予習すること（1 時間）。
【復習】時間・内容	配布テキスト・配布物や講義内容について復習すること（1 時間）。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。
フィードバック方法	・授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	「基礎ゼミナール1（2021年度版）」，新潟国際情報大学 経営情報大学。
---------	--------------------------------------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>本演習は、大学生活に慣れることも目標の1つである。積極的な友人作りを目指すこと。</p>
<p>JABEE</p>	